

10

静岡県

## 世界遺産 富士山の森を守り再生させよう

認定特定非営利活動法人 富士山クラブ

児童から企業まで多様な参加者に向けて、プログラムもさらに充実しました。

富士山の森は、人の手があまり入っていない「奥山」と人々の暮らしに近い「里山」があります。富士山クラブでは、この両方の森を守りながら、主に「里山の保全活動」を多くの方に体験していただけるプログラムを開発しています。富士宮市内の「里山の保全活動」は、若い世代へのアプローチを意識したこともあって、今年も300名を超える方が参加しました。企業や大学の研修や社会貢献活動のほか、地元の放課後デイサービスの子どもたちの受け入れも増え、社会の意識の高まりを感じます。プログラムの内容も、里山を整備する間伐や下草刈りをメインに、ツリークライミングやキノコの菌打ちなど自然体験も充実し、今年は「食」をテーマに森や自然を考えるイベントも開催できました。今後は、増加した参加者の受け入れ体制を、いかに整えていくかが課題です。



整備作業の後はジビエ(ニホンジカのジャーキー)を試食森にまつわる様々なことを体験していただいています

いつもご支援ありがとうございます!富士山の美しく豊かな自然を守り次代につなぐためこれからも活動を続けていきます!



整備した里山の面積

3,000m<sup>2</sup>

11

神奈川県

## 竹林を間伐して鎌倉の森を取り戻そう

一般社団法人 地球の楽校



今年の活動もタケノコの間伐作業から始まりました。昨年に続き竹林内の整備を進めて、竹林と森の共生をめざします。

森の再生と竹林管理が体験的に理解できる活動も始めました

竹を間伐した跡地に生えた稚樹を保護し鎌倉の生まれのクヌギの苗を植えています。

鎌倉の森を再生するために、今年も竹林の間伐や整備を行いました。春にはタケノコと若竹間伐をし、この竹材を使ってメンマづくりなどのワークショップを開催しました。間伐だけでなく、月2回、森の再生エリアを見回り、外来種の除草作業もしています。初夏までに延べ50名近くの市民が参加し体験しました。これらの活動によって、森と竹林の間に新たな空間が生まれています。そこに地元の幼稚園の子どもたちとドングリから育てたクヌギの苗も植樹しています。6年続けてきた竹林の整備は、ようやく森が再生し景観を整える段階に入りました。

竹林整備の参加者

320名



12

東京都

## 八王子の里山を明るい森に変えていこう

特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

継続した活動で順調に里山の整備も進み、市の環境保全課から謝辞もいただきました。

八王子市上川地区の里山保全活動は、今年度も計7回の「里山ボランティア」の活動に約300名が参加して、22,000m<sup>2</sup>の森を整備しました。研修や社会貢献活動で里山保全に関わる企業も新たに12社が加わって15社に増え、事業も計画的に進められるようになりました。

整備で出た木材はチップや杭として使うほか、丸棒に加工して散策路の土留めに使うなど、約9割を再利用できました。順調な整備の進捗に、保全地を監督する市からも感謝の言葉をいただいています。COSMOエコ基金で築いた人脈と事業で、引き続き保全活動を続けていきます。

2011年の長野県東御市でのプロジェクト以降、12年の長きにわたりご支援をいただき、誠にありがとうございました。本年の八王子での支援終了を機に、自立の道を選ぶことにいたしました。会員の皆さまとの御縁に感謝しながら、森への無関心をなくすというミッションに邁進してまいります。



左より、越智 浩一さん、竹垣 英信さん

里山整備の参加者

306名



13

長野県・宮城県

## C.W.ニコル・アフンの森と東松島の森づくり

一般財団法人 C.W.ニコル・アフンの森財団



アフンの森では、今年も2羽のフクロウが巣立ちました。皆様のご支援のおかげで、森に暮らす生きものたちの生態系が保全されています。ありがとうございます!

左より、大澤 渉さん、森田 いづみさん、石井 敦司さん

トラストによって北と南に分断された森がつながりました。

長野県北部にある「アフンの森」では、引き続き手つかずだったエリアの整備を進めています。作業道をさらに150m整えるとともに、トラストによって新しい土地を取得し、分断されていた北と南の森の一部をつなげることができました。ボランティア会員の皆さんとの活動も「作業したい」という多くの声に応じて回数を増やし、通常の見学では入れない未整備エリアの作業と一緒にを行いました。アフンの森をより理解していただく機会となり、さらにリピーターを育て、支援の継続にもつながればと思います。

アフンの森の整備

50,000m<sup>2</sup>

14

宮城県

## 海を守るために木を植える 森は海の恋人

特定非営利活動法人 森は海の恋人

明るくなった森に植生も少しずつ回復し、流域のエコツーリズム計画も進めています。

COSMOエコ基金の支援で、今年も無事「森は海の恋人植樹祭」を開催しました。雨の中、全国から800名が参加し、地元の室根小学校の生徒たちと1,100本の苗を植樹しました。西舞根川流域の環境保全活動も、間伐や下草刈りの整備を進め、植生が少しずつ回復しています。同時に、流域の自然を活かしたツーリズムの計画も進めています。また自然のつながりの大切さを伝えるための絵本「『しぜん』ってなんだらう?」を制作し、WEB版も用意し小学校などで活用いただける予定です。

皆さまのご支援のおかげで、森と海と人とがつながりを保ち、その理念は世代を越えて引き継がれています。これからも応援よろしくお願いたします!



左より、畠山 信さん、横山 勝英さん、畠山 重篤さん、白幡 美晴さん

舞根地区流域の環境保全

5,600m<sup>2</sup>

15

宮城県

## 鳴子温泉の地熱と暮らす

特定非営利活動法人 スパッと鳴子温泉自然エネルギー



いつもご支援いただきありがとうございます。地元学校での出前授業を今年も実施できること御礼申し上げます。

左より、遊佐 宗一さん、菊地 昭二さん、高橋 隆さん

大学生と高校生が協働で開発した装置で、再生可能エネルギーを学び、若い力も育てます。

地元高校の自然科学部と東北工科大学部の研究生と学生が協力して、再生可能エネルギーを学ぶコンテンツを開発しています。一つは「温泉バイナリー発電」の模型装置で、水よりも沸点の低い液体を温泉で熱し、その蒸気でタービンを回して発電します。もう一つは、廃棄物などを発酵させてつくったメタンガスを使って電気や熱をつくる「小型メタン発酵システム」です。参加した生徒たちとNPOの会員で、秋田県の地熱発電所見学会も行き、再生可能エネルギーの先進事例も学びました。開発した装置は、体験教室の実演で使えるように改良を進めていく予定です。

再生可能エネルギー体験用の装置開発

2件